



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

万葉のまち 市辺

第74号

令和8年8月



夏っ子！全員集合 子ども夏祭り開催7.11
主催 市辺コミュニティセンター



発行：市辺地区まちづくり協議会 / 東近江市市辺町 2353-1
市辺コミュニティセンター内 TEL & FAX 050-5802-3392



共に考え 共に創る

皆様には、平素より市辺地区まちづくり協議会の活動にご理解とご支援賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度は、地域の皆様が待ち望んでおられた新コミュニティセンターが8月に開館し、まちづくり活動の新たな拠点として大きな一歩を踏み出すことができました。

さて、本年度は、市辺地区まちづくり協議会の根幹をなす「まちづくり計画」の改訂から10年の節目を迎えます。少子高齢化の進行や人口減少、価値観やライフスタイルの多様化などにより、地域コミュニティを取り巻く環境は大きく変化しています。こうした時代だからこそ、人と人とのつながりを大切に、誰もが安心して暮らし、このまちに誇りと愛着を持ちながら「このまちで心豊かに住みつづけたい」と思える地域づくりが求められています。

その実現のためには、地域に暮らすすべての皆様が、それぞれの立場でまちづくりに参画し、知恵と力を持ち寄ることが大切です。皆様からの貴重なご提案やご意見をいただきながら、「共に考え・共に創る」絆と心の豊かさを育み、次代へとつながる持続可能な「万葉のまち市辺」のまちづくりを進めてまいります。

役員・委員一同力を合わせ市辺地区のさらなる発展と地域福祉の向上を目指し取り組んでまいります。

市辺地区まちづくり協議会
会長 谷 正和



令和8年度 市辺地区まちづくり協議会定期総会

5月11日(月)19時30分より市辺コミュニティセンターにおいて「令和8年度市辺地区まちづくり協議会定期総会」が開催されました。下記の各議案を審議し、全議案賛成多数で可決決定されました。

- 第1号議案 令和7年度事業報告(まちづくり部門)
- 第2号議案 令和7年度収支決算及び監査報告(まちづくり部門)
- 第3号議案 令和7年度事業報告(コミセン部門)
- 第4号議案 令和7年度収支決算及び監査報告(コミセン部門)
- 第5号議案 令和8年度役員の選出
- 第6号議案 令和8年度事業計画案(まちづくり部門)
- 第7号議案 令和8年度収支予算案(まちづくり部門)
- 第8号議案 令和8年度事業計画案(コミセン部門)
- 第9号議案 令和8年度収支予算案(コミセン部門)

令和8年度 市辺地区まちづくり協議会役員

役 職	氏 名	(敬称略)
会 長	谷 正和	(まちづくり委員・令和7～8年度)
副会長	高橋 康夫	(まちづくり委員・令和7～8年度)
//	東川 伊久雄	(各種団体代表)
//	清水 秀徳	(自治連代表)
事務局長	柴田 俊幸	(まちづくり委員・令和7～8年度)
業務主任者	辻 善英	(コミセン館長)
会 計	沖 光男	(まちづくり委員・令和7～8年度)
会計監事	中村 慎志	(東市辺 自治会長・令和8年度)
//	篠原 禮子	(船岡 自治会長・令和8年度)

(役員の任期は1期2年・自治連推薦は1期1年)



子ども
夏まつり
スナップ



蒲生野 万葉短歌会

短歌募集



詳細・原稿用紙は
こちらからご覧
いただけます

■ 応募期間 令和8年7月1日(水)～令和8年9月2日(水) **必着**

■ 出詠料(応募参加料) 無料 1人2首まで

■ 応募方法(いずれかの方法をご利用ください)

①電子メールの利用 応募作品・住所・郵便番号・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記載し、電子メールで送付してください。メールアドレス: ichi-kyo@e-omi.ne.jp

②応募原稿用紙の郵送 応募作品・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記載し封書で郵送してください。

③官製はがきの利用 官製はがきの場合は、応募作品など上記の必須事項をはがきの裏面に記載し送付してください。

【注意点】自作、未発表作品に限ります。作品受領後の訂正はできません。尚、応募作品の著作権は主催者に原則帰属します。

■ 郵送先、お問い合わせ先

〒527-0074 滋賀県東近江市市辺町2353-1 市辺コミュニティセンター内
市辺地区まちづくり協議会「蒲生野万葉短歌会」事務局 (電話 050-5802-3392)
メールアドレス: ichi-kyo@e-omi.ne.jp

はじまりの集い 開催 6月27日

主催 蒲生野・万葉ロマンの会
共催 市辺地区まちづくり協議会
蒲生地区まちづくり協議会

東近江市で2034年に、万葉故地サミットが開催されることから気運を盛り上げ、万葉集ゆかりの蒲生野・船岡山の歴史文化遺産の魅力を未来につなぐ「はじまりの集い」が開催されました。

東近江市歴史文化振興課の木村課長から、万葉故地サミットの概要とサミット開催地の取り組みの紹介があり、額田王と大海人皇子の相聞歌の舞台となった蒲生野や、山辺赤人の終焉の地と伝わる赤人寺や山辺神社があることから、令和4年の第4回全国万葉故地サミットから当市も加盟とのことでした。

各グループから出たアイデア発表では、東近江市のミュージカルで「額田王と大海人皇子の相聞歌」、船岡山に展望台の整備、歴史文化芸術会館の構想など、和やかな雰囲気アイデアの共有となりました。

参加者の皆様には、蒲生野の万葉故地の新たな発見と交流の場となり地域への誇りと愛着を深め、8年後のサミットにつながる活動の輪を広げる一歩となりました。



部会だより

歴史文化部

昨年度の歴史・文化部は、歴史発見塾では、新コミュニティセンターの玄関に掲げています、鳥瞰図の制作に当初から関わっていました。その作者を招き、鳥瞰図を通じて感じる事として、当地関連古地図を用いての講演会を行い古き時代の地理に浸りました。

市辺地区各町の伝統行事をDVDに記録化し、歴史発見塾で上映会を行い、古くからのコミュニケーションの方法や、伝統と継承についての問題の手掛りとなりました。また、布施山城跡に気楽に行ける様に布施山縦走コース整備も行いました。

奈良時代に成立した万葉集に因る、第11回蒲生野万葉短歌会を行い多くの参加者がありました。

今年度の歴史発見塾では、蒲生氏郷氏や六角氏に関する講演を予定しています。

街道を歩くは、東海道の土山宿～水口宿を予定しています。単なるウォーキングでなく、街道を歩む歴史・文化のふれあいを行います。

自然環境部

さつまいも苗の植栽

子ども園の園児を招いて、さつまいも苗の植栽をおこないました。

5月13日 部員7名で畝に黒マルチシート張り

5月14日 10時より サツマイモ苗を植え付け

ゆいの杜子ども園 園児26名

先生7名引率 部員5名

園児1人について5本ずついも苗を植栽し、その後園児持参のペットボトルで、水を給水しました。

作業がおわった後、自然環境部の小西さんからコンポストの簡単な説明もありました。

園児らは楽しかった、面白かったなどの感想も出ていました。



部会だより

子ども健全育成部

令和8年度活動計画

4月5日

「蒲生野万葉フェスタ」

射的ゲーム 主催

7月11日

「いちのべ いきいき塾」

子ども夏祭り 共催

7月22日

「いちのべ いきいき塾」

近江鉄道に乗って
図書館に行こう 共催

10月11日

「市辺ふれあいフェスタ」

射的ゲーム 主催

2月

「わくわくコラボ村」

まちづくり協議会 共催



減災・安全安心部

昨年度の活動内容は、以下の通りです。

- ① 減災かるた&トイレ凝固剤体験
・西小、布引小での出前授業
・市辺ふれあいフェスタ参画
・わくわくコラボ村ワークショップ
- ② 防災無線での啓発放送(毎月月初)
- ③ 地区内防犯パトロール
- ④ 減災連絡会議参加



トイレの凝固剤体験では、子どもたちに加え大人の方も、興味深く参加していただきました。何事も知っているだけでは、本番で役に立たないことが多いので、実際に体験しておくことの大切さを感じています。

本年度も同様の活動を継続して参りますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

健康・福祉部

昨年の健康づくり活動として、11月12日に第5回「健康グラウンドゴルフまち協会長杯」を実施63名参加、ホールインワンもあり楽しい一日を過ごすことができました。

健康講座として、1月29日に永源寺診療所所長の花戸先生を迎えて「住み慣れた地域で安心して暮らしつづけるために」と題して講演をいただき、また「人とのつながりの重要性」を教えてもらいました。

その他、コミセンとの共催事業も実施しました。

今年度の計画は、昨年と同様で11月グラウンドゴルフまち協会長杯、2月講演会を実施します。

ご長寿ふれあいサロンなどのコミセン事業等共催していきます。



地域活力部

令和7年度【活動の振り返り】

活動実績として、6月末に船岡山万葉の森において美化活動(ごみ、空き缶など収集)を行い、「いつまでも安心に過ごせる憩いの場所」をスタートし、部員協力で美化保全につながったと思っています。また、新コミセン開設記念として11月に「いちのべ文化・スポーツふれあいフェスタ」を、本年4月には「蒲生野万葉フェスタ」が行われ、多数の皆様のご来場により大盛況であり、開催協力メンバーとして、楽しく参加出来ました。

令和8年度【まちづくり部会活動計画】

- ◆蒲生野万葉フェスタの開催協力
- ◆地域活性化のための事業の研究
- ◆美化活動 船岡山万葉の森
- ◆ふれあいフェスタ事業への開催協力

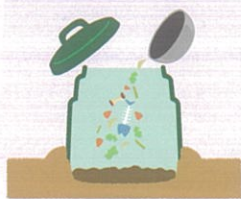


自然環境部

まち協発展以降生ごみを可燃ごみとして出さないことをめざして、コンポストによる堆肥化を中心に取り組んでいましたが、ややマンネリ化が感じられるようになってきました。

今年度から木製にこだわらず、誰でも使えるコンポストも導入し、多くの皆さんに使ってもらえるよう取組みたいと思います。

また、環境の問題は、子どもの時から意識づけることが大切ですので、生ごみ堆肥を使ったサツマイモの収穫体験をはじめ、折にふれ学習できる場の提供につとめたいと思います。



広報誌発行について

この広報誌発行について、昨年度までの年4回の発行を、諸般の事情により、本年度より年2回発行と致しました。ご愛読いただきました皆様には、ありがとうございました。

この機会に、紙面のリニューアルをし、引き続き、ご愛読頂く広報誌をめざして行きたいと思います。

また、広報に興味のある方、パソコンが得意な方、写真撮影が趣味の方は市辺コミセンまでご一報下さい。

今後とも広報「万葉のまち市辺」をよろしくお願い致します。

広報部